

ふるさと歴史散歩

〔第181回〕 松崎八幡宮と総社の争論 その六



八幡社が「多家神社」と記した稲害虫駆除の御札を村民に配布したことに驚いた惣社の神官大吞氏は、直ちに、クレームの書簡を庄屋に送ったという記録が残っている。

要旨は「八幡社が言っている『たけい社』は武内宿禰の社であって、それを多家神社と偽って祈禱を執行しているのは、国法で禁止されているので調査してほしい。また御札は回収して八幡社に還すべきである。もし受け入れられなければ、郡役所に願い出るつもりである」というものであった。

結局、この問題は郡役所が取りあげることになった。

郡役所の取り調べは、郡奉行目付山縣保右衛門、手付野村理左衛門・中川金三郎の三人が庄屋の家に出席して行われた。船越村の庄屋を立会人として行われたこの取り調べは、八幡社・惣社両当事者、村内の南北百姓合計23人を対象に、8日間にお

よび、前例の有無や御札を返却した理由、受け取った理由を聞いた。八幡社側は「大吞氏は宮守番人であるから、宮守の申し出を取り上げないで欲しい」と述べている。この虫送り祈禱御札事件は、南北両百姓を巻き込んだ争いに発展したが、この事件の裁決がどうなったかについては、資料がなくて分かっていない。

これより先には、座席争い事件も起こっている。現代では、公式の場以外の席次はあまり重要視されないが、身分秩序厳しい江戸時代では、社寺行事の場における席次は大変重要であった。

古代の日唐交流史上に「争長事件」という有名な席次問題事件がある。唐に渡り、長安に入った遣唐使一行には、宮城で国書・貢物を皇帝に奏上した後、宴を賜うなど、外交儀礼のほかにも、色々々な儀式に参列する役割があった。特に、正月元旦に行われていた「朝賀の儀式」には、

多数の蕃国の使節が、参列のために派遣されていた。「争長事件」は、玄宗皇帝の天宝十二載（753年）元日に行われた朝賀の儀式の場で起こった。勝宝の遣唐副使大伴古麻呂が、儀式における日本の席次が新羅より低いことに気づき「新羅は日本に朝貢している国だ。席次を変えろ」と血相を変えて接待官に詰め寄り、第一席に変えさせたいものである。何時の時代も、正論という気骨のある人物がいるものである。



惣社跡付近の写真
(府中町史第一巻より)

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

朝パッ君ネットワークおすすめレシピを紹介

パッとカンタン!

朝パッ君 レシピ

いりごとアーモンドで、かむ・COME 歯ッピー!!



いりごとアーモンドの甘辛煮



材料(4人分)

アーモンド細切り	40g
かえりいりこ	20g
白いりごま	大さじ1
しょうゆ	小さじ1
みりん	小さじ2
砂糖	大さじ1

作り方

- ①アーモンドとかえりいりこはオーブンやフライパンで熱し、香ばしくする。
- ②鍋でたれを煮立て、①を入れて絡める。
- ③白いりごまを入れ、絡めてできあがり。

アーモンドといりこを香ばしくするのが美味しさのコツです♪
味がしっかりついているので、ごはんに合わせて食べるとごはんがすすみます！
普段摂りづらい種実類・小魚類をおいしく食べられます！

レシピ提供 府中中学校 健康推進課健康増進係 ☎286-3257